○●

中国四国地域の和食文化ネットワーク

メールマガジン　第 61 号

配信日：2024 年 3 月 26 日

○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●○●●○●○●○●

　春分の日とは、日本の祝日法では「自然をたたえ、生物をいつくしむ」と定められています。春のお彼岸は春分の日を挟んだ 7 日間。中日の春分の日には、お墓参りをして、お仏壇に「ぼたもち」をお供えし、ご先祖様を供養する習慣があります。

　小豆は、食物繊維やたんぱく質、ビタミン B 群、鉄やカリウムなどのミネラル、サポニンやポリフェノールなど、さまざまな栄養素をバランスよく含んでいます。これからお花見の季節になりますし、おうちで「ぼたもち」を作ってみませんか。

詳しくは、こちらをご覧ください。↓（農林水産省ホームページ）
https://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/culture/wagohan/articles/2302/spe14_04.html

【目次】

1．農林水産省 「和食」のユネスコ無形文化遺産登録 10 周年！和食文化普及イベント動画配信
2．農林水産省　米担当 BUZZ MAFF チーム「やっぱりごはんでしょ！」が撮影した動画公開
3．農林水産省 「食から日本を考える。ニッポンフードシフト」連携プロジェクト
　　　　　　　「おにぎりアイデアグランプリ」の受賞作品決定！
4．農林水産省 「農泊インバウンド受入促進重点地域」28 地域を選定！
5．北陸農政局　北陸の食文化、食べて応援しよう
6．中国四国農政局　令和 5 年度中国四国農政局食育交流会体験型イベント開催！（第 59 号続報）
7．文化庁 「100 年フード」及び「食文化ミュージアム」を認定しました
8．観光庁　地域一体型ガストロノミーツーリズムの推進事業の地域公募を開始します

－－－

1．農林水産省 「和食」のユネスコ無形文化遺産登録 10 周年！和食文化普及イベント動画配信

－－－

　「和食;日本人の伝統的な食文化」がユネスコ無形文化遺産に登録されてから、2023 年 12 月 4 日で 10 周年を迎えました。農林水産省では、日本の伝統的な食文化を守り、和食文化を未来に伝えるため、和食文化の普及イベントを開催し、動画の配信を行っています。

詳しくは、こちらをご覧ください。↓（農林水産省ホームページ）
https://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/wasyoku_unesco10/hukyuu_event.html

――

2．農林水産省　米担当 BUZZ MAFF チーム「やっぱりごはんでしょ！」が撮影した動画公開

――

上野の国立科学博物館で開催されていました、特別展「和食　～日本の自然、人々の知恵～」につきまして、農林水産省米担当の BUZZ MAFF チーム「やっぱりごはんでしょ！」が撮影した動画が公開されました。

【日本の争点？】結局、カレーって和食なん？
https://www.youtube.com/watch?v=bCOyX6URJZ8

【究極の 2 択】これって和食？（Short 動画）
https://www.youtube.com/shorts/G9hobN3_jTo

なお、上野の国立科学博物館での展示は、2月 25 日（日曜日）までで終了しましたが、4月以降全国巡回が予定されています。

【開催概要】
https://washoku2023.exhibit.jp/outline.html

――

3．農林水産省　「食から日本を考える。ニッポンフードシフト」連携プロジェクト「おにぎりアイデアグランプリ」の受賞作品決定！

――

農林水産省は、食と農とのつながりの深化に着目した国民運動「食から日本を考える。ニッポンフードシフト」を展開しています。令和 6 年 1 月から、遊べる本屋「ヴィレッジヴァンガード」とおむすび専門店「ほんのり屋」と連携して「おにぎりアイデアグランプリ」を開催し、優秀作品 3 点（「シフトで賞」、「オキニで賞」、「みんな好きで賞」）を決定しました。今後ほんのり屋にて受賞作品の商品化を予定しています。

詳しくは、こちらをご覧ください。↓（農林水産省ホームページ）
https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/anpo/240227.html

――

4．農林水産省 「農泊インバウンド受入促進重点地域」28 地域を選定！

――

農林水産省は、農泊地域への訪日外国人旅行者（インバウンド）の更なる受入促進に向け、これまで農泊に取り組んできた地域の中から、「農泊インバウンド受入促進重点地域」28 地域を選定しました。

中国四国地域からの選定地域
　にし阿波～剣山・吉野川観光圏協議会（徳島県美馬市・三好市・つるぎ町・東みよし町）

てしま農泊推進協議会　（香川県土庄町）
詳しくは、こちらをご覧ください。↓（農林水産省ホームページ）
https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/kouryu/240229.html

－－

5．北陸農政局　北陸の食文化、食べて応援しよう

－－

令和６年能登半島地震により、お亡くなりになられた方々にお悔やみを申し上げるとともに、被害にあわれたすべての皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

北陸、特に能登地区の食に携わる企業が大きな被害を受けました。北陸農政局では、北陸の伝統的な食文化の発信とその食文化に関わる企業を間接的に応援するため、「北陸の食文化　食べて応援しよう」の取組として、北陸の郷土料理や伝統食などを紹介したパンフレットをホームページに掲載しています。パンフレットを参考に、是非、北陸各地を訪れて北陸の食文化をご堪能ください。

一部、震災で入手が難しい食品もあります。オンラインショップなどを活用し在庫をご確認ください。

詳しくは、こちらをご覧ください。↓（北陸農政局ホームページ）
https://www.maff.go.jp/hokuriku/food/wasyoku.html

－－

6．中国四国農政局　令和５年度中国四国農政局食育交流会体験型イベント開催！（第 59 号続報）

－－

中国四国農政局では、令和６年２月 27 日（火曜日）、学校法人本山学園 西日本調理製菓専門学校にて、令和５年度中国四国農政局食育交流会「行くぜっ！にっぽんの和食」～天然の「だし」で美味しく健康づくり～を開催しました。

イベント当日は、中国四国食育ネットワーク会員様をはじめ 40 名以上の方にご参加いただき、中国四国農政局からは、食育に関する最新情報の説明を、マルトモ株式会社からは、だしの伝道師®こと土居幹治講師による講演及び体験教室を実施しました。

詳しくは、こちらをご覧ください。↓（中国四国農政局ホームページ）
https://www.maff.go.jp/chushi/syokuiku/index.html

－－

7．文化庁 「100 年フード」及び「食文化ミュージアム」を認定しました

－－

文化庁では、我が国の多様な食文化の継承・振興への機運を醸成するため、地域で世代を超えて受け継がれてきた食文化を、100 年続く食文化「100 年フード」と名付け、文化庁とともに継承していただく取組を進めるとともに、食文化への学びや体験の提供に取り組む博物館、食の体験・情報発信施設等に関する情報を一体的に発信する「食文化ミュージアム」の取組を実施しています。

今回、「100 年フード」50 件と、「食文化ミュージアム」21 件を追加認定しましたので、お知らせします。

皆様の地元の食文化があるかどうか、以下のサイトをご覧ください。
詳しくは、こちらをご覧ください。↓（文化庁ホームページ）
https://www.bunka.go.jp/koho_hodo_oshirase/hodohappyo/94013401.html

－－－

8．観光庁　地域一体型ガストロノミーツーリズムの推進事業の地域公募を開始します

－－－

観光庁では、外国人旅行者から需要が高い”日本の食”について、魅力的なガストロノミーツーリズム（※）コンテンツを造成し、インバウンド誘客を高めるとともに地方誘客を促進する取組を推進しています。

本事業は、地方公共団体、観光地域づくり法人（DMO）、農業・漁業・飲食業・宿泊業等の様々な関係団体等が連携し、ガストロノミーツーリズムに取り組むことで、観光分野の経済波及効果を地域全体で最大化することを目的としています。

※ガストロノミーツーリズムとは、その土地の気候風土が生んだ食材・習慣・伝統・歴史などによって育まれた食を楽しみ、食文化に触れることを目的としたツーリズムのことをいいます。

応募締切：令和６年４月 17 日（水曜日）17 時 00 分（必着）

詳しくは、こちらをご覧ください。↓（観光庁ホームページ）
https://www.mlit.go.jp/kankocho/page05_000306.html

○●

中国四国地域の和食文化ネットワークの事務局

○●

窓　口：中国四国農政局　経営・事業支援部　食品企業課
住　所：岡山県岡山市北区下石井 1-4-1
電　話：(086)224-4511【内線 2152／2154】

農林水産省では、このほかにもメールマガジンを発行しております。
配信をご希望される方は、ご登録をお願いします。
https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html